

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 2 号
受 理 年 月 日	令和4年12月2日
件 名	伊丹市の教育予算を増額し、ゆきとどいた教育を求める請願書
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	伊丹市 [REDACTED] 子どもと教育を守る伊丹連絡会 [REDACTED] 外 3, 143人
請 願 の 要 旨	別 紙
紹 介 議 員 名	(日本共産党伊丹市議会議員団) 上原 秀樹
付 託 委 員 会 名	文教福祉常任委員会

令和4年12月2日

伊丹市議会議長

加 藤 光 博 様

請 願 者

住 所 伊丹市

氏 名 子どもと教育を守る伊丹連絡会

外 3, 143人

紹 介 議 員 日本共産党伊丹市議会議員団 上原 秀樹

伊丹市の教育予算を増額し、ゆきとどいた教育を求める請願書

請願趣旨

新型コロナウイルス感染症、自然災害、戦争といった危機的状況が多発し、急激なIT化に対応できる力を身につけることが急がれる社会情勢の中で、一人一人の子どもの真の生きる力を育むことは、最重要かつ喫緊の課題です。子どもたちを支援する教職員を増員し、教師の多忙化解消による、ゆきとどいた教育を実現するためには、予算の確保が不可欠です。また、予算の確保により、少人数学級の実現、保護者負担金の軽減、子どもたちの命を守るセパレート空調のさらなる推進等も可能になるはずです。

現在、学校現場では、教員の未配置が深刻な状況を呈しています。県内で160人を超え、伊丹市でも相当数の教員が配置されず、教科の専門的な授業等が行えない学校が少なくありません。伊丹市でも様々な取り組みが進められていますが、抜本的な改善のためには、予算をつけてきちんと人手を確保し、伊丹市の教職員の長時間過密労働を解消することが必要です。県、国の措置を待つのではなく、伊丹市独自で教育に関する予算を増額し、伊丹の教育条件をさらに整えて、「子育てには伊丹」を一刻も早く実現するよう請願します。

請願事項

1. セパレート空調を推進してください。
2. 子どもたちを支援する教職員を増員してください。
3. 保護者負担金を軽減してください。
4. 教師の多忙化解消による、ゆきとどいた教育を実現してください。
 - (1) 伊丹市独自の35人学級を早期に実現してください。
 - (2) 教職員未配置を解消してください。

- (3) 会計業務を委託してください。(諸費の会計業務も教師がしています)
- (4) 勤務時間の正確な把握をしてください。